

2. 交流協定

学術交流協定

2015年3月31日現在

協定国	協定先	協定先(アルファベット表記)	協定年月日	期間
ギニア	ギニア科学技術庁	La Direction Nationale de la Recherche Scientifique et Technique	1998.12.28	5年間 (自動継続)
ギニア	ボソウ環境研究所	L'Institut de Recherche Environnementale de Bossou (IREB)	2004.1.4	5年間 (自動継続)
スリランカ	スリジャヤワルデネブラ大学 社会学人類学教室	University of Sri Jayawardenepura (Faculty of Arts, Department of Sociology and Anthropology)	2005.8.18	10年間
台湾	国立屏東科技大学 野生動物保全学研究所	Institute of Wildlife Conservation National Pingtung University of Science and Technology	2008.1.24	10年間
大韓民国	ソウル大公園(ソウル動物園)	Seoul Grand Park (Seoul Zoo)	2010.4.28	—
タイ	チュラロンコン大学理学部	Faculty of Science, Chulalongkorn University	2010.5.24	5年間 (自動継続)
コンゴ民主共和国	生態森林研究所	The Research Center for Ecology and Forestry, Democratic Republic of Congo	2010.9.15	5年間
インドネシア	アングラサ大学理学部	Department of Biology, Faculty of Science, Andalas University, Indonesia	2011.4.27	5年間 (2011.4.1～)
バングラデシュ	野生生物保護局	The Wildlife Trust of Bangladesh, Bangladesh	2011.3.12	5年間 (2011.4.1～)
タイ	カセサート大学理学部	Faculty of Science, Kasetsart University, Thailand	2011.4.25	5年間 (2011.5.1～)
スイス	チューリッヒ大学獣医学部	The University of Zurich, Vetsuisse Faculty, Clinic of Zoo Animals, Exotic Pets and Wildlife	2012.6.20	3年間 (自動継続)
コンゴ民主共和国	キンシャサ大学理学部	Faculty of Science, University of Kinshasa, Democratic Republic of Congo	2013.1.7	5年間
インドネシア	ガジャマダ大学獣医学部	The Faculty of Veterinary Medicine, Universitas Gadjah Mada, Indonesia	2013.11.5	5年間 (2014.1.1～)
インドネシア	ボゴール農科大学理数学部	The Faculty of Mathematics and Natural Sciences, Bogor Agricultural University, Indonesia	2013.11.13	5年間
アメリカ	リンカーンパーク動物園フィッシャーセンター	The Lester E. Fisher Center for The Study and Conservation of APES, Lincoln Park Zoo	2014.11.21	5年間
中国	中山大学社会学与人類学院	The School of Anthropology and Sociology, Sun Yat-sen University, China	2015.3.1	5年間

共同研究協定

日本	財団法人名古屋みなと振興財団 (名古屋港水族館)		2009.7.3	—
マレーシア	オランウータン島財団	Orang Utan Foundation	2010.11.1	—
マレーシア	ブラウバンディング財団	Pulau Banding Foundation	2010.11.1	—
マレーシア	サバ財団、ペトロリアム・ナショナル株式会社(ペトロナス)、サバ州森林局、サバ州野生生物局、マレーシア科学アカデミー	Yayasan Sabah, Petroliaam Nasional Berhad(Petronas), Sabah Forestry Department, Sabah Wildlife Department, Academy of Sciences, Malaysia	2011.6.29	5年間
日本	西海国立公園九十九島水族館 「海きらら」		2012.6.16	—
日本	日本モンキーセンター		2014.10.15	—
日本	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構生理学研究所		2014.1.22	5年間

3. 学位取得者と論文題目

京都大学博士(理学)

大谷洋介(課程) : Feeding and reproductive strategies of ranging behavior in male Japanese macaques (ニホンザルオス個体の遊動行動 : 採食・繁殖戦略上の意義)

禰占雅史(課程) : Transverse patterning 課題遂行におけるサル前頭前野機能の解明

磯村朋子(課程) : Facial Emotion Processing in Children with Autism Spectrum Disorders (自閉症児における情動表情処理機構)

の解明)

早川卓志(課程)：霊長類における苦味受容体遺伝子の分子進化と生態適応

Pomchote Porrawee(課程)：Age-related changes in bone morphometry, densitometry and osteoarthritis in macaques (マカクにおける骨の計量形態、密度、および変形性骨関節症の年齢変化)

京都大学修士(理学)

伊藤聡美：ワオレムール(*Lemur catta*)オスにおける前腕臭腺分泌物の季節変化

小笠原宇弥：ドーパミン神経シグナルが行動抑制に果たす役割

北島龍之介：発生生物学研究ツールとしての霊長類 iPS 細胞の作成

豊田 有：嵐山の餌付けニホンザル群における高齢メスの生殖関連ホルモン動態と性行動との関連に関する研究

西栄美子：行動実験と分子実験によるヒトとニホンザルの甘味感受性比較

宮田晃江：屋久島におけるヤクシマザルの集団の分布とその変遷

安河内竜二：運動学習の神経メカニズム解明に向けたマカクにおける行動解析手法の開発

山口佳恵：ドーパミン D1 受容体機能の社会生態学的役割—ニホンザルグループケージを用いた実験的検討—

4. 外国人研究員

招へい外国人学者・外国人共同研究者

H Bouchet(フランス共和国、セント・アンドルーズ大学・博士研究員)

(2012.8.20~2015.7.19)

受入教員：正高信男

研究題目：野生ニホンザルの同種内—異種間コミュニケーションの様相に関する比較認知科学的研究

CFE Watson(京都大学霊長類研究所・研究員(特別教育研究))

(2012.11.30~2014.11.29)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：霊長類における任意慣習と意思疎通ジェスチャーの文化的伝達

SJ Hyniewska(京都大学霊長類研究所・研究員(最先端・次世代研究))

(2013.9.1~2014.8.31)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：日本人における表情の符号化と解読の検討

L Morino(ラトガース大学・講師)

(2013.9.20~2014.9.19)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：類人猿テナガザルの利き手と高次コミュニケーションに関する観察研究

P Sujiwattanarat (カセサート大学・研究員)

(2013.12.18~2014.11.30)

受入教員：古賀章彦

研究題目：霊長類での反復配列の分子進化

CM Gonseth (ピエール・メンデス・フランス大学(グルノーブル大学)・研究補助員)

(2014.3.2~2015.3.1)

受入教員：友永雅己

研究題目：ヒト以外の霊長類のコミュニケーションにおけるマルチモーダル性についての比較研究

A Schlegel(リバー・バレーコミュニティーカレッジ・講師)

(2014.6.17~2014.8.19)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：EAPSI：Use of metaphors by chimpanzees (*Pan troglodytes*)